

企画部総合政策課

1 総合計画の進行管理

平成19年度分 新米子市総合計画・数値目標の進捗状況調査の実施

(1) 調査の目的

平成18年度にスタートした「新米子市総合計画（米子いきいきプラン）」の数値目標の進捗状況を把握し、今後の計画推進に役立てるため、平成19年度分の進捗状況調査を実施した。

(2) 調査対象

新米子市総合計画基本計画の数値目標71項目を対象とした。

なお、数値目標のうち、「・・・している市民の割合」の10項目については、平成20年5月に実施した市民意識調査の結果とした。

また、制度改正、社会経済情勢の変化、あるいは施策、事業を進めていく上でより適切な数値目標とする等の理由により見直した結果、新設又は廃止した各3項目及び目標値等を見直した5項目の数値目標について変更した。

【進捗状況調査対象数】

区 分	数値目標の総数
第1章 子育てを応援し、お年寄りが元気な米子	16
第2章 ゆとりある心豊かな米子	29
第3章 活力みなぎる米子	22
第4章 みんなのための市役所	4
数値目標数	71

(3) 目標達成度

目標達成度は、その状況から、つぎの「A～D」の4つの区分に分類した。

A＝目標値を達成している

B＝概ね順調に進捗しており、目標を達成できる見込みである

C＝進捗状況が停滞しており、目標を達成するためには取り組みを強化していく必要がある

D＝基準値を下回っている

(4) 調査結果

調査対象の数値目標数71項目のうち、既に目標値を達成したものの17項目（23.9%）、概ね順調に進捗しており、目標を達成できる見込みのもの30項目（42.2%）で、合わせると47項目（66.2%）となり、約3分の2の項目については順調に進捗している。

ただし、基準値（平成17年度の数値）よりも下回っているものが13項目（18.3%）、目標を達成するためには取り組みを強化していく必要があるものが11項目（15.5%）あるので、目標実現に向けて更なる取り組みの強化・充実を図る必要がある。

また、昨年度と比較すると調査対象数が増えたため、市民の意識など基準値以下の数値目標も増えてはいるが、達成済みの項目も8項目増加しており、全体としては順調に推移している。

対象目標数	A 達成済み	B 概ね順調	C 取組強化	D 基準値以下
第1章 16	5 (31.3%)	5 (31.3%)	3 (18.8%)	3 (18.8%)
第2章 29	8 (27.6%)	13 (44.8%)	3 (10.3%)	5 (17.2%)
第3章 22	3 (13.6%)	10 (45.5%)	5 (22.7%)	4 (18.2%)
第4章 4	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)
71	17 (23.9%)	30 (42.3%)	11 (15.5%)	13 (18.3%)

(注) 表示単位未満を四捨五入してあるため、章ごとの割合の合計が100%にならない場合あり。

2 平成20年度まちづくりに関する市民アンケートの実施

(1) 調査目的

本市のまちづくりの指針となる「新米子市総合計画（米子いきいきプラン）」基本計画の中間年にあたり、本市の現状や将来のまちづくりについての市民の意見や意向を把握することを目的として実施した。

(2) 調査対象・調査方法

調査対象 16歳以上の米子市民（平成4年4月1日以前に生まれた人）

調査方法 年代別構成人口比率により按分し、無作為に抽出した3,000人に対するアンケート調査票の郵送配付および回収

調査時期 平成20年4月～6月

(3) 回収結果

配布数 3,000

有効回収数 1,093

有効回収率 36.4%

(4) 質問項目

問1 回答者属性について

問2 現在の米子市での暮らしについて

問3 現状の満足度とまちづくりの重要度について

問4 これからのまちづくりの進め方について

問5 米子市が力を入れて取り組むべき分野について

問6 米子市が取り組むべき課題やまちづくりの構想・提案などについて

3 行政評価の実施

(1) 事務事業評価

翌年度に行う予定の事務事業のうち、開始後間もない事業やこれまでの評価において「市関与の妥当性」が低いと評価された事業及び新規事業（継続事務事業43本、新規事務事業50本）について評価を実施した。

評価は、各担当課による「1次評価」と、副市長を委員長とし各部長等で構成する事務事業評価委員会による「2次評価」の2段階で実施し、継続事務事業のあり方や新規事業の実施などについて検討を行った。

2次評価の結果は、次のとおりである。

ア 「継続事務事業における今後の方向性」の判断結果

現状維持	見直し 13本 (30.2%)			
	充実・拡大	効率化・改善	統合・縮小	廃止・休止
30本 (69.8%)	11本 (25.6%)	2本 (4.6%)	0本 (-)	0本 (-)

イ 「新規事務事業における実施等の区分」の判断結果

実施	条件付実施	再検討
50本 (98.0%)	0本 (-)	1本 (2.0%)

(2) 公共事業評価

ア 公共事業評価制度の概要

公共事業の効率性及び実施過程の透明性の向上を図るため、市が新たに実施しようとする大規模公共事業及び農林水産省、国土交通省及び経済産業省が所管する国庫補助事業のうち、事業採択後5年を経過しても未着工の事業や事業採択後10年を経過している継続中の事業等について、学識経験者5人で構成する「米子市公共事業評価委員会」に意見を求め、事業の必要性や効果等を客観的に評価し公表する公共事業評価を実施した。

イ 公共事業評価委員会の開催

日時 平成20年9月30日(火)午後1時から

場所 米子市役所第2応接室

ウ 意見具申の内容

(ア) 公共下水道事業の再評価について

当該事業は継続実施とする。

(付帯意見)

- ・ 公共事業に対する市民の理解を深めるためにも、公共下水道事業の進捗状況、環境への影響等について、市民へわかりやすく情報提供することが必要である。
- ・ 日本海に対する環境負荷削減対策として、内浜処理区と比べ整備が遅れている外浜処理区の整備率及び普及率の向上を図ることが必要である。
- ・ 自然環境の変化に伴う都市部での集中的な降雨に対する治水対策として、また、ナショナルミニマムを達成するという意味においても、下水道の早期整備に向けた取り組みが必要である。

(イ) 皆生漁港整備事業(西防波堤等)の事前評価について

当該事業は条件付実施とする。

(付帯意見)

- ・ 西防波堤の必要性は認められるが、建設にあたっては、これまでの検討結果を踏まえ、現況調査等を十分に行ったうえで最良の手法を選択する必要がある。
- ・ ハード面での整備ばかりでなく、漁業を存続させるための施策を検討していく必要がある。
- ・ 物揚場等の付帯施設の整備については、漁業振興の面での必要性とともに観光面での利活用の可能性等を含めた総合的なビジョンに基づいて検討していく必要がある。

4 合併関係事務

(1) 鳥取県市町村合併支援交付金

下表のとおり、平成20年度鳥取県市町村合併支援交付金の交付を受けた。

当該年度交付対象事業	算定基準額(円)	交付額(円)
「米子の景観88選」選定事業	540,000	270,000
「米子の宝88選」選定事業	460,000	230,000
歴史館資料データ作成委託事業	983,136	491,568
合 計	1,983,136	991,568

(2) 合併振興基金の造成

合併特例債を活用し、市民の連帯の強化及び地域振興に資する事業の実施に要する費用に充てるため合併振興基金を設置し、500,535千円を積み立てた。

5 米子市ロゴマーク、イメージキャラクターの活用

(1) イベント等への派遣

「ヨネギーズ」の着ぐるみを、「第3回ゆるキャラカップ in 鳥取砂丘」に出場させた他、各種イベントに49回(164日間)貸し出しを実施した。

(2) ロゴマーク・イメージキャラクターが一緒に活用

米子市の各種印刷物をはじめ、職員の名刺や名札に活用されているほか、チラシ、リーフレットへの掲載等、民間事業者を含めて30件の使用申請があり、NHKのアニメーション合成素材としての活用、雑誌ブルータスへの掲載、プリクラに登場、イメージ商品(クッキー・ドレッシング)等に活用された。

(3) その他の活用

「ゆるキャラめぐり2009」に活用、その他、米子市ホームページ内で、壁紙、折り紙、マウスカーソル、デコメ等で活用されている。

ヨネギーズの携帯ストラップを作成し、市のイベント等で米子市のPRに活用すると同時に民間事業者等による販売が開始(1個350円)された。

鳥取県宅地建物取引業協会より100万円の寄付を受けエアータイプのヨネギーズ着ぐるみを作成した。

讀賣新聞元旦版(全国ゆるキャラ特集)において、鳥取県のゆるキャラとして紹介された。

6 中心市街地活性化関係

(1) 中心市街地活性化基本計画関係

ア 中心市街地活性化基本計画の検討経過

新しい「米子市中心市街地活性化基本計画」の策定について、下表のとおり会議を開催し検討を行った。

会 議 の 名 称	開 催 回 数 (回)
新米子市中心市街地活性化基本計画検討委員会	3
米子市中心市街地活性化推進本部会議	4

イ 基本計画(素案)に対する市民意見の公募の実施及びまちなおしフォーラムの開催

平成20年7月1日から31日の1か月間、基本計画の策定に当たって市民の意見を参考とするため、基本計画(素案)に対する市民意見の公募(パブリックコメント)を実施した。また、平成20年7月25日米子コンベンションセンター(ビッグシップ)小ホールにおいて、米子まちなおしフォーラム「にぎわいの再生をめざして!」を開催し、市民等133名の参加のもと基本計画(素案)の説明・位置づけられる民間

事業の説明を行った。

ウ 米子市中心市街地活性化基本計画の認定

検討を重ねてきた米子市中心市街地活性化基本計画について、平成20年11月11日付けで国（内閣総理大臣）の認定を受けた。

エ 米子市中心市街地活性化フォーラムの開催

平成21年1月21日米子市公会堂で米子市中心市街地活性化フォーラムを開催し、「中心市街地の活性化はなぜ必要か？」～生活充実都市の「顔」づくり～と題して、米子市長、地元若手経営者、青森のまちづくりアドバイザーによる対談を行い、米子の賑わい再生と将来像について市民等390名の参加のもと公開討論を実施した。

オ 米子市中心市街地活性化基本計画第1回変更申請の認定

事業内容の検討を進めたことに伴う時点修正及び新規事業の追加が必要となったため、第1回目の変更申請を行い、平成21年3月27日付けで国の認定を受けた。

(2) 中心市街地活性化協議会関係

ア 中心市街地活性化協議会への職員派遣

平成19年12月21日に設立された中心市街地活性化協議会事務局に、平成20年4月1日から市職員1名を派遣し、官民一体となって計画推進を図れる体制とした。

イ 中心市街地活性化協議会負担金

中心市街地活性化協議会の活動を支援するため、事務局経費の一部を負担した。

中心市街地活性化協議会負担金 3,419,959円

7 中海市長会

(1) 市長会及び幹事会の開催

ア 市長会の開催

第1回：平成20年4月18日(金) 松江市役所八束支所

- ① 平成19年度事業報告及び決算について
- ② 中海市長会事務局設置要綱の制定について
- ③ 中海市長会副会長の選任について
- ④ 平成20年度事業計画（案）及び予算（案）について
- ⑤ 中海市長会監事（案）の選任について

第2回：平成20年7月15日（金） 松江市役所第2常任委員会室

- ① 東出雲町から提出された「中海市長会への参画について（要望）」の取扱について
- ② 中海市長会規約の一部改正について
- ③ 中海市長会シンポジウムの概要について
- ④ 平成20年度事業中間報告

第3回：平成20年11月28日（金） 松江市役所八束支所

- ① 平成20年度中間報告及び決算見込報告
- ② 平成21年度事業計画（案）及び予算（案）
- ③ 平成21年度東出雲町の位置づけについて（案）
- ④ 平成21年度事務局体制の強化について（案）

第4回：平成21年3月30日（月） 松江市役所八束支所

- ① イメージキャラクター表彰式 グランプリ「ウンパくん」
- ② 平成20年度事業報告及び決算見込報告
- ③ 平成21年度事業計画（案）及び予算・特別会計予算（案）
- ④ 平成21年度事務局体制の強化について（案）

イ 幹事会の開催

第1回：平成20年4月11日（金） 松江市役所八束支所

- ① 平成19年度事業報告及び決算について
- ② 中海市長会規約の改正について
- ③ 中海市長会副会長の選任（案）について
- ④ 中海市長会事務局設置要綱の制定について
- ⑤ 平成20年度協議会監事（案）について

第2回：平成20年11月19日（水） 松江市役所八束支所

- ① 平成20年度中間報告及び決算見込報告
- ② 平成21年度事業計画（案）及び予算（案）
- ③ 平成21年度東出雲町の取扱いについて（案）
- ④ 平成21年度事務局体制の強化について（案）
- ⑤ 平成21年度青少年海外研修事業特別会計予算（案）について

(2) 事業

ア 中海圏域シンポジウム

平成20年8月6日（水） くにびきメッセ国際会議場
 基調講演 「県境を越える地域づくり～三遠南信地域の事例から～」
 パネルディスカッション 「中海圏域のビジョンを語る」

イ 大都市圏における情報収集・発信体制の構築

首都圏店舗での中海圏域のポスター貼り出し、チラシ配布など

ウ 中海圏域のイメージキャラクター公募及び決定

グランプリ「ウンパくん」

エ 青少年海外研修事業の実施

青少年人材育成の一環として、次代を担う中学生を海外に派遣し、海外の教育・文化などに接する機会を提供するとともに、交流を通して相互理解を深めるなど、国際感覚を持った人材を育てることを目的として青少年海外研修事業を実施した。

派遣先：カナダ・ブリティッシュコロンビア州メトロバンクーバー

（デルタ地域、バンクーバー市、ウエストバンクーバー市）

派遣期間：平成20年9月21日～25日（3泊5日）

派遣人員：10名〔中学生8名（米子市、境港市、松江市、安来市から各2名）、引率者2名〕

研修内容：①ラムサール条約登録湿地「ジョージ・C・ライフェル野鳥保護区」における環境保全の取組などについての学習

②ウエストバンクーバーセカンダリースクールでの交歓授業及び交流会ほか

オ 環日本海経済交流講演会の開催

平成20年7月7日（月） 松江市市民活動センター

カ 東出雲町のオブザーバー参加

キ 第14回環日本海拠点都市会議への参加

平成20年8月27日(水) 米子コンベンションセンター国際会議室

ク 環日本海貨客船航路就航支援活動

「国際定期貨客船航路実現について」要望書の提出

環日本海貨客船航路就航支援懇談会(鳥取県主催)

環日本海貨客船航路に関する懇談会(鳥取県主催)

環日本海貨客船航路試験運行に係る記念行事(境港市主催)

ケ 東出雲町の町外料金区分の撤廃

コ 日中友好交流書画展への協賛参加

8 鳥取県西部地域振興協議会(事務局)

(1) 協議会・幹事会・連絡会の開催

ア 協議会の開催

平成20年6月5日(木) うなばら荘

- ① 平成19年度事業報告及び決算報告
- ② 平成20年度事業計画及び予算
- ③ 平成20年度以降の要望活動(中国横断自動車道の4車線化)について
- ④ 県知事等との懇談会について

イ 幹事会の開催

平成20年5月28日(水) うなばら荘

- ① 平成19年度事業報告及び決算報告
- ② 平成20年度事業計画及び予算
- ③ 平成20年度以降の要望活動(中国横断自動車道の4車線化)について
- ④ 県知事等との懇談会について

ウ 連絡会議の開催

平成20年4月24日(木) 弓ヶ浜荘

- ① 平成19年度事業報告及び決算報告
- ② 平成20年度事業計画及び予算
- ③ 平成20年度以降の要望活動(中国横断自動車道の4車線化)について
- ④ 県知事等との懇談会について

平成20年7月28日(月) 米子市役所淀江支所第2会議室

- ① 県知事との懇談会について
- ② 要望活動について
- ③ ふるさと市町村圏基金の運用検討委員会設置について

平成20年8月19日(火) 伯耆町役場会議室

- ① ふるさと市町村圏基金のあり方について

(2) 要望活動

平成20年5月16日 国土交通省等要望活動

協議会会長米子市長が要望書提出

9 西日本中央連携軸沿線都市連携推進協議会

広域交流圏づくりに不可欠な、道路を始めとする基幹的な社会資本の整備促進について関係省庁に対する要望活動をおこなった他、スポーツ交流事業を実施した。

10 定住自立圏構想

中海市長会の構成自治体である4市1町が、国のすすめる定住自立圏構想の先行実施団体(22圏域24市)の1つに選定された。

(1) 先行実施団体の決定

平成20年8月28日に定住自立圏構想の先行実施団体に応募し、総務省と副市長の意見交換等を経て、10月28日先行実施団体の決定を受けた。

圏域) 中心市・松江市・米子市 周辺市・境港市・安来市・東出雲町

(2) 定住自立圏構想推進基金条例を制定し、交付金120,589千円を積み立てた。

11 移住定住推進事業

(1) 相談窓口の設置

平成20年5月20日に企画部総合政策課内に移住定住相談窓口を設置。

(2) 移住定住案内のリーフレット作成

米子のよさとUJIターン関連のホームページ情報を盛り込んだリーフレットを作成した。

12 国政・県政に対する要望事項

米子市と米子市議会との協働により、国及び県に対し要望事項を取りまとめ提出した。

【国政に対する要望事項】

- 1 北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について、他18件
- 2 公共土木事業関係 国道9号新日野橋の道路改良、他11件

【県政に対する要望事項】

- 1 北朝鮮による拉致被害者の早期帰国の実現と調査の徹底について、他15件
- 2 公共土木事業関係 米子境港自転車道線、他45件
- 3 公安委員会関係 国道431号市道下和田東3号線との交差点の信号機、他20件

13 市長会関係

(1) 全国市長会提出議案審議経過及び結果報告

ア 各支部提出議案については、全市長をもって構成する4分科会に審議を付託

各分科会委員長から順次報告があり、いずれも報告のとおり決定

第1分科会(地方行政等)

第2分科会(地方税財政等)

第3分科会(厚生労働・環境・文教等)

第4分科会(国土交通・農林水産等)

イ 本会議において決定された重点要望事項及び要望事項について

(ア) 地方分権改革の推進による都市自治の確立等に関する重点要望

(イ) 防災・災害対策の充実強化と安心・安全なまちづくりに関する重点要望

- (ウ) 過疎地域の振興と限界集落対策の推進に関する重点要望
- (エ) 情報化施策の推進と地上デジタルテレビ放送移行への支援に関する重点要望
- (オ) 都市税財政の充実確保に関する重点要望
- (カ) 介護保険制度に関する重点要望
- (キ) 国民健康保険制度及び後期高齢者医療制度に関する重点要望
- (ク) 福祉施策に関する重点要望
- (ケ) 廃棄物・リサイクル対策に関する重点要望
- (コ) 義務教育施策等に関する重点要望
- (サ) 道路整備財源の確保等に関する重点要望
- (シ) 原油価格高騰対策に関する重点要望
- (ス) 運輸・交通対策に関する重点要望
- (セ) 農林水産政策に関する重点要望
- (ソ) 地域活性化政策に関する重点要望

※その他、要望事項については、地方分権改革の推進による都市自治の確立等に関する要望、他50件

ウ 下記決議を決定

- (ア) 地方分権改革の推進に関する決議
- (イ) 都市税財源の充実強化に関する決議
- (ウ) 医療制度改革及び医師確保対策に関する決議
- (エ) 道路整備財源の確保等に関する決議

(2) 全国市長会中国支部会議の対応

ア 全国市長会中国支部総会・春季役員会

- (ア) 期 日 平成20年5月14日
- (イ) 場 所 岡山県新見市
- (ウ) 議 題
 - 第78回全国市長会議提出議案について
 - その他

イ 全国市長会中国支部秋季役員会

- (ア) 期 日 平成20年10月15・16日
- (イ) 場 所 尾道国際ホテル(尾道市)
- (ウ) 議 題
 - 全国市長会理事・評議員合同会議提出議案について
 - その他

(3) 鳥取県市長会の対応

ア 第1回鳥取県市長会議

- (ア) 期 日 平成20年8月25日
- (イ) 場 所 グリーンスコーレせきがね(倉吉市)
- (ウ) 議 題
 - 全国市長会中国支部秋季役員会提出議案について
 - 鳥取県に対する要望事項について
 - その他

イ 第2回鳥取県市長会議

(ア) 期 日 平成21年2月26日

(イ) 場 所 鳥取商工会議所（鳥取市）

(ウ) 議 題

- 全国市長会中国支部総会提出議案について
- 鳥取県市長会平成20年度決算、及び平成21年度予算について
- その他

1.4 鳥取県西部広域行政管理組合

次の事務について、鳥取県西部広域行政管理組合で共同事務処理をおこなった。

- (1) 老人福祉施設（うなばら荘）運営管理
- (2) 介護、障害認定審査
- (3) 病院群輪番制及び小児救急医療支援事業
- (4) 火葬場（桜の苑）運営管理
- (5) 不燃物中間処理場（リサイクルプラザ）、最終処分場、灰溶融施設（エコスラグセンター）、し尿処理施設（白浜浄化場、米子浄化場）運営管理
- (6) 消防本部及び消防署の設置運営
- (7) 視聴覚ライブラリーの運営

1.5 基地対策関係

- (1) 美保基地周辺環境整備の調整及び促進を行った。

中国四国防衛局補助事業

民生安定事業	1件
障害防止事業	0件
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業	3件

- (2) 大篠津町移転跡地の整備促進について中国四国防衛局と協議を行った。
- (3) 米子飛行場周辺地域振興協議会の開催

総 会 平成20年9月11日

1.6 米子空港滑走路延長（2,500メートル化）関係

- (1) 米子空港滑走路延長事業に関する地元との調整は、9月11日の地元協議会においてその取組み状況と地域振興計画の進捗状況等について、説明と報告を行い了承された。
- (2) JR境線支障移転費として、32,122千円を負担した。

1.7 地方バス路線関係

- (1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

日ノ丸自動車株式会社

区 分			路線数	補助額 (単位;円)	
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線	広域幹線路線	6	15,018,252
			広域路線	7	18,168,897
		単市補助対象路線 (市内完結路線)		9	18,001,363
合 計			22	51,188,512	

日本交通株式会社

区 分			路線数	補助額 (単位;円)	
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線	広域幹線路線	2	7,784,505
			広域路線	4	14,339,411
		単市補助対象路線 (市内完結路線)		8	12,516,149
合 計			14	34,640,065	

(2) 米子市循環バス (愛称「だんだんバス」) 運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ル ー ト：市内中心部(米子駅→大学病院→ホープタウン前→天満屋前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅)での一方向周りの循環運行

運行回数；平日25便、土・日、祝日23便(始発8時～終発18時：25分間隔)

使用車両；市所有のノンステップバス(34人乗り)2台

停 留 所；32箇所(市が設置)

料 金；中学生以上1人1回150円、小学生100円、身体障がい者等は50円、幼児は無料

回 数 券；150円券11枚綴り 1500円 100円券11枚綴り 1000円 50円券11枚綴り 500円

運行方法；市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運行経費から運賃収入を控除した
いわゆる赤字額(20年度；8,099,996円)を市が補填する。

利用者数；総乗車人員160,684人

一日平均441.4人、一便平均17.7人(幼児を含む)

(3) 米子市淀江町巡回バス (愛称「どんぐりコロコロ」) 運行

路線バスの廃止代替として、淀江駅または米子東病院を発着し、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。

ル ー ト：便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、ジャスコ等を巡回
1便あたりの所要時間15分～58分

運行回数；平日・土曜10便、日、祝日運休(始発8時5分～終発15時54分)

使用車両；バス事業者所有のバス(35人乗り)1台

停 留 所；51箇所(市が設置)

料 金；中学生以上1人1回150円、小学生100円、身体障がい者等は50円、幼児は無料

回 数 券；150円券11枚綴り 1500円 100円券11枚綴り 1000円 50円券11枚綴り 500円

運行方法；市がバス事業者に運行を委託し、運行経費から運賃収入を控除した
いわゆる赤字額(20年度；8,794,876円)を委託料として支払う。

利用者数；総乗車人員10,019人

一日平均33.9人、一便平均3.4人（幼児を含む）

(4) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

構成；学識経験者2名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、住民又は利用者の代表7名、運転手が組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、市職員1名 計16名

開催日；平成21年3月16日

1.8 鉄道関係

(1) 山陰本線、福知山線の複線電化等について「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」を通じて要望活動を行った。

・平成21年3月26日（木） 平成20年度西日本旅客鉄道（株）米子支社への要望会参加

(2) JR利用に関わる諸問題について、JR西日本米子支社との調整を行った。

(3) JR淀江駅前公衆便所の維持管理

1.9 航空路線関係

(1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市と共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、米子空港駅の待合所の整備を行った。

(2) 「米子ーソウル国際定期便利用促進実行委員会」を通じ、同路線の利用促進活動を行った。

(3) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動、航空会社に対する要望活動等を行った。

ア 平成20年8月20日～8月28日

中京地区への観光宣伝活動として、ナゴヤドームで開催の「妖怪フェスティバル」に観光ブースを設け、山陰観光と米子ー名古屋線をPRした。

イ 平成20年9月1日～11月30日

観光の利便性、観光客の誘致を目的に、奇数日：出雲大社他、偶数日：大山、鳥取砂丘他へのコースを走る「湯～らんバス」を期間中毎日運行した。

ウ 平成20年9月21日

「空の日」の記念行事として行われる「米子空港まつり」を関係団体とともに開催した。

エ 平成21年3月27日

首都圏への観光宣伝活動として、東京で「さんいん食フェスタ」を開催し、山陰の食と観光をPRした。

2.0 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。

アナログテレビ放送が終了し地上デジタル放送へ移行することに関して、各関係課との調整を行った。

市有建物に起因する地上波デジタル放送受信障害に関する調査を実施した。

2.1 水源対策関係

(1) 賀祥ダム建設工事に係る水道局企業会計の負担に対し、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業出資金 54,122,233円

イ 水道事業補助金 20,060,128円

(2) 浅山地区飲用水給水設備の修繕を行った。

(3) 旧淀江町簡易水道事業に係る水道事業債償還金の一部について、次のとおり費用負担を行った。

ア 水道事業会計繰出金 5,439,686円

2.2 高等教育機関連携事業

(1) 高等教育機関の充実発展への支援

米子工業高等専門学校の発展と産学連携の強化を目的に、様々な事業を実施している米子工業高等専門学校振興協力会の活動に対し、引き続き協力した。

平成20年度振興協力会活動内容

ア 講演会・技術交流会(平成21年2月13日)

イ 産官学連携推進のための調査研究支援

ウ 共同研究支援

(2) 高等教育機関との連携の強化

鳥取大学と県内四市との連絡協議会への出席

鳥取大学と県内四市との連絡協議会に出席し、鳥取大学と米子市との連携のあり方、今後の方向性等について意見交換を行った。(平成20年11月26日開催)

2.3 交通バリアフリー基本構想策定関係

高齢者、障がい者等を含む、誰もが安心して活動し社会生活を営むことができる環境の整備を促進するための「米子市交通バリアフリー基本構想」を平成21年2月に策定した。

これまで、障がいのある方や高齢の方をはじめ多くの方から強い要望の寄せられていた米子駅に、JRが事業主体となり本市も支援を行うことで、エレベーターとエスカレーターのある新しい跨線橋や多目的トイレなどを整備するバリアフリー化が実現することとなった。平成21年の秋に着工し、平成23年3月に完成の予定である。

(1) 「米子市交通バリアフリー基本構想」作成委員会及び連絡調整会議の開催

第3回委員会 平成20年5月22日 連絡調整会議 平成20年7月16日、10月3日

第4回委員会 平成20年11月6日

第5回委員会 平成21年1月29日

(2) 「米子市交通バリアフリー基本構想」策定日 平成21年2月10日

(3) 「米子市交通バリアフリー基本構想」パンフレット作製

2.4 国際交流事業

(1) 友好都市中国保定市

ア 保定市長への親書

平成20年5月に中国・四川省で発生した大地震に対し、米子市長から保定市長にお見舞いの親書を送った。

イ 河北大学幹部事務職員市長表敬

平成20年11月14日、鳥取大学と交流をしている河北大学の幹部事務職員が研修の一環として米子市長を表敬し、情報交換を行い、交流を深めた。

ウ 保定市長表敬訪問

尾沢三夫米子市議会議員が友好都市の現状を把握するため、保定市長を表敬した。(米子市長の親書を託した。) ※ 訪問期間：平成20年11月27日～12月2日

(2) 姉妹都市韓国束草市

ア 職員相互短期派遣研修事業

米子市、束草市それぞれ相互に短期行政研修職員を派遣し、互いに行政施策についての研修を実施した。

(ア) 米子市派遣研修

派遣期間：平成20年7月6日～11日(6日間)

研修場所：束草市企画監査室国際交流係

派遣職員及び研修テーマ：永見桂子 地域国際化施策について

高橋三鈴 地産地消を中心とした農業振興について

(イ) 束草市派遣研修

受入期間：平成20年11月9日～14日(6日間)

研修場所：米子市総合政策課国際交流室

受入職員：李 成 麟 (イ・ソンリン)、李 昌 炫 (イ・チャンヒョン)

研修テーマ：建築文化と都心市街地住居環境について

イ 米子市束草市民間交流促進

両市の交流を市民レベルに拡大し定着させていくため、民間グループの交流について連絡調整等の支援を行い、交流の発展に寄与した。

(ア) 江原道束草市青少年ホームステイ交流事業(15人)

期間：平成20年7月29日～8月1日

鳥取県西部地区日韓親善協会と交流している束草市の民間団体の米子市姉妹都市委員会の交流事業として束草市の小学生15人が本市を訪問し、サッカーの親善試合、ホームステイ等を行い、交流を図った。

(イ) 束草市職員野球チームとの親善野球大会の実施

期間：平成20年11月7日～9日

五千石自治会が束草市職員野球同好会員20人を米子市に招致し、五千石自治会野球チームとの親善試合を行い、交流を深めた。※米子市民球場(ナイター)と南部球場での2試合実施

(ウ) トライアスロン交流

皆生トライアスロン協会と雪嶽国際トライアスロン協会との交流が開始された。

・束草市で開催された「雪嶽国際トライアスロン大会2008」(平成20年6月15日開催)からの招待を受け、皆生トライアスロン協会から3人の選手が出場し、交流を深めた。選手団訪韓に際し、束草市長への米子市長の親書を選手団に託した。

・皆生トライアスロン大会(平成20年7月20日開催)に束草市の選手団3人(うち大会出場選手は1人)を招待し、交流を深めた。

(3) 環日本海諸国との交流

ア 環日本海拠点都市会議の開催

第14回環日本海拠点都市会議を米子市の主催により開催し、参加都市の代表者を招き、環日本海地域の一体的な発展方策について協議した。

会議テーマ：環日本海都市間交流の促進方策

【議題1】経済・観光分野での交流促進について

【議題2】環境分野での国際的な取組について

開催期間：平成20年8月26日～29日

開催日：平成20年8月27日

開催場所：米子コンベンションセンター 国際会議室

参加都市：日本／米子市、境港市

韓国／江原道 束草市、江原道 東海市、慶尚北道 浦項市

中国／吉林省 琿春市、吉林省 図們市

※オブザーバー参加：鳥取市、松江市、安来市、浜田市、東出雲町、敦賀市、新潟市、秋田県

(4) 国際交流員の雇用

JETプログラムによる国際交流員を雇用し、海外との連絡調整、翻訳、通訳等の業務を通じて、友好都市交流事業の円滑化を図った。また市内公民館、小中学校などでの国際理解講座や市民を対象とした韓国語講座、中国語講座を開催し、さらには「おでかけ交流員出張サービス」を実施するなど市民の国際意識の高揚を図った。

・国際交流員（韓国担当）：柳 潤 慶（リュウ・ユンキョン）

・国際交流員（中国担当）：夏 霊（シャ・リン）

(5) 友好都市児童画作品展

ア 国際児童美術交流展

期間：平成20年6月10日～6月15日

会場：束草文化会館

米子市をはじめとする束草市国内外友好都市の児童画作品展が開催された。

イ 国際児童絵画展

期間：平成21年2月6日～2月19日

会場：米子市児童文化センター

米子市児童美術作品展に併せて、米子市の友好・姉妹都市、中国・保定市、韓国・束草市及び高城郡の児童絵画を展示した。

(6) 地域国際化事業

ア 在住外国人及び地域国際化相談業務

来庁、電話等で寄せられる市内在住外国人の日常生活、言葉等に関する問題や一般市民からの地域国際化に関する問い合わせに対し、相談業務を行った。

イ 国際理解講座の開催

市内の小学生（3年～6年）を対象に、中国・韓国文化を紹介する「国際理解講座（わくわくアジア体験くらぶ）」を開催し、小学生の国際意識の啓発に寄与した。

期間：平成20年7月～8月に計5回

会場：児童文化センター、明道公民館 参加者：25人

ウ ペらっとハングル・スピーチコンテストの開催

鳥取県西部地区の住民を対象に韓国・朝鮮語のスピーチコンテストを開催し、日ごろの学習の成果を競いながら情報交換し、交流を図った。

開催日：平成21年3月1日

会場：米子市役所401会議室 発表者：19人（来場者約150人）

エ 民間交流支援

(ア) 韓国プロゴルフ選手市長表敬訪問

平成20年4月1日、南部町のグリーンパーク大山ゴルフ倶楽部で開催される韓国プロゴルフトーナメントに出場するため、米子市を訪れた束草市出身の金庚泰（キム・キョンテ）選手が米子市長を表敬し、束草市についての情報交換を行いながら、ゴルフ談議に花を咲かせ、交流を深めた

(イ) 韓国江原道・春川（チュンチョン）市長及びナレ保育園長への親書

平成20年6月24日から、米子市のいずみ保育園が韓国江原道・春川市ナレ保育園と交流するための渡韓に合わせ、春川市長及びナレ保育園長に市長の親書を送った。

(ウ) ネパール・カトマンズ青年会議所市長表敬訪問

平成20年7月4日、米子青年会議所と姉妹提携を結んでいるカトマンズ青年会議所メンバー10人が米子市長を表敬し、情報交換を行いながら交流を深めた。

(エ) 国際本派揚心流柔術東ヨーロッパチーム市長表敬訪問

平成20年10月22日、ウクライナ及びベラルーシ両国の国際本派揚心流柔術東ヨーロッパチームのメンバー40人が米子市との文化交流と両国の古武道技術の向上を図ることを目的に来日。米子市長を表敬し、情報交換を行いながら交流を深めた。

(オ) 鳥取県モンゴル親善協会招致馬頭琴奏者市長表敬訪問

平成20年11月4日、鳥取県モンゴル親善協会が招致したモンゴルの馬頭琴奏者エルデネバートル氏が県内で演奏会を行うことに伴い、米子市長を表敬し、馬頭琴演奏を披露して交流を深めた。

オ 市民ボランティア育成事業

市内在住外国人の生活支援を目的とする市民ボランティア団体米子国際交流協会の活動に対し支援を行い、外国人にとって住みやすいまちづくりと草の根交流の促進を図った。

(ア) 広報紙の作成と配布及びホームページ公開

- ・広報紙「ワイズジャーナル」年2回発行（各50部）
- ・米子国際交流協会ホームページへのアクセス 年間800件（総数12,464件）

(イ) 各種交流事業の開催

- ・バーベキュー交流会（野外レクリエーション活動）

日時：平成20年8月31日 午後4時～6時 場所：皆生海浜公園 参加者：90人

- ・料理教室の開催

日時：平成20年10月12日 午前10時～午後2時 場所：明道公民館 参加者：25人

景山アルビーナさんを講師に迎え、ロシアの代表的料理であるボルシチを作りながら、市民交流を行った。

- ・冬の交流会

日時：平成20年12月14日 午前10時～午後2時 場所：明道公民館 参加者：25人

市内在住外国人と市民及び民間交流団体が一堂に会し、これまでの料理教室で紹介された料理の中から、韓国のちぢみ、ロシアのボルシチ、日本の手巻き寿司を作りながら交流を深めた。

- ・国際井戸端会議

日時：平成21年3月15日 午前10時～午後2時 場所：明道公民館 参加者：25人

景山アルビーナさんを迎え、愉快的トークを交えながら参加者でピロシキ（ロシア料理の惣菜パン）を作り、試食会で交流を深めた。

25 定額給付金支給事業

平成21年2月1日現在米子市に住民登録をしている人に、一人あたり12,000円（18歳未満及び65歳以上の人は20,000円）の定額給付金を支給する事業を開始した。

平成20年12月5日 定額給付金検討チームを立上げ

平成21年2月2日 米子市定額給付金事業実施本部設置

平成21年3月1日 定額給付金相談窓口開設

平成21年3月16日 申請書送付（62,820件）

平成21年3月19日 申請受付開始 ※申請期限9月24日

平成21年3月30日 口座振込による給付を開始

※初回振り込み額181,640千円（4,562件）